

# 大和市生活支援・介護予防サービス第1層協議体 令和7年度第1回会議 議事録

日 時：令和7年8月6日（水）午前10時00分～午前11時32分

場 所：大和市保健福祉センター 5階 501会議室

出席者：委員7名（欠席2名） 支援組織3名 あんしん福祉部長 関係各課3名  
事務局3名 第1層コーディネーター2名 （その他：傍聴者 なし）

## 配布資料

- ・ 大和市生活支援・介護予防サービス第1層協議体委員名簿
- ・ 大和市生活支援・介護予防サービス第1層協議体委員席次
- ・ 資料1 大和市の生活支援体制整備について
- ・ 資料2-1 令和6年度の大和市における第2層協議体の活動状況等について
- ・ 資料2-2 中央林間地区における協議体設立の経緯について
- ・ 資料3 令和7年度の予定

## 会議次第

1. 開会
2. 委員・支援組織等の紹介
3. 会長及び職務代理の選出について
4. 会長・職務代理あいさつ
5. 議題
  - (1) 大和市の生活支援体制整備について ……資料1
  - (2) 令和6年度大和市における第2層協議体の活動状況等について ……資料2-1・2-2
  - (3) 令和7年度の予定について ……資料3
  - (4) その他
6. 閉会

## 会議内容

1. 開会
2. 委員・支援組織及び事務局職員等の自己紹介
3. 会長及び職務代理の選出  
会長(大山委員)及び職務代理(村上委員)が選出される。
4. 会長・職務代理あいさつ
5. 議題  
会 長：それでは、本日の議題の1番目、大和市の生活支援体制整備について、事務局から説明してください。  
◆資料1 大和市の生活支援体制整備について、事務局から説明。  
会 長：ありがとうございました。ただいま、大和市の生活支援体制整備について、説明がありましたが、皆さまから何かご質問やご意見はございますか。

【質疑】

会 長：皆さんよろしいですか。私は、説明のところどころの文章や言葉の意味の理解ができないところがあったが、後ほど確認させてもらうことにします。例えば、第1層、2層、3層とあるが、中に居るメンバーは同じであるなど、その辺の意味を納得できるような形で示してもらう。私はそうしたことを納得して進んでいきたい。協議体を作っていくには、細かいところを理解していかないといけないのだと、改めて思った次第である。

他の方、何かございますか。よろしければ、2つ目の令和6年度の大和市における第2層協議体の活動状況等について、事務局から説明してください。

◆資料2-1 令和6年度の大和市における第2層協議体の活動状況等について、及び資料2-2 中央林間地区における協議体設立の経緯について、事務局から報告。

会 長：ありがとうございました。第2層協議体の活動状況等について、2つの資料を基に事務局から説明がありました。何かご質問やご意見がありましたらお願いします。

【質疑】

会 長：ないようですが、こうした活動に関わっている委員、及び支援組織の地域包括支援センターから補足説明などありましたらお話いただけますでしょうか。

委 員：下鶴間地区の協議体「たすけ愛しもつるま」で、設立から本年6月までメンバーであった。今7つの協議体があるが、各協議体が決まりごとの中で、地域の組織、人が高齢者の困りごとに対処していくという共通課題を進めて行く分けだが、下鶴間地区は近くの駅から離れた住宅地域に拠点があり、人の集まりも少なく、PRも難しかった現状もあり、高齢者の困りごとがある中で健康を維持することが大切だということから、健康をテーマとして取り組んでいる。地区社協が個別支援や買い物支援等を行う中での協議体なので、重複するかなと思っていた中で、たまたま県から高齢者の健康寿命を延ばそうという「かながわ未病改善宣言」というものが挙げられ、「食・運動・社会参加」の3つの柱が具体的な取り組みとして示された。丁度、協議体設立の時期とマッチングをしたこともあり、介護保険法の要介護支援、要介護にならないための予防ということが本来の目的なので、この「食・運動・社会参加」の要素を取り入れて下鶴間地区の方が健康でいること「いつまでも健康でいるために」をテーマとした取り組みをしてきている。他の協議体と目的は同じではあるが、地域を見守るといった形の違った取り組みになっている。あと、感想としては、2025年までに各地区に協議体を設立するという事になっていたが、まだ半分ということなので、今後もいろいろな手法で、十分に検討してもらって、よい協議体になればよいと思う。

会 長：ありがとうございました。続いてお願いします。

委員：桜丘地区に昨年12月7日、「桜丘地区ふれあい協議体」を設立した。その後3カ月の中で、「拠点を」ということで探していたが、幸いにも桜ヶ丘駅の東口を出たところに場所が見つかり、5月から開所をして動き出した。地域内の対象11自治会にチラシを個別配布して、開所をしたこととお知らせしたが、まだ浸透はしていない。ここで2カ月になるが、拠点入り口に「高齢者の困りごと相談所」と張り紙をしたところ、困りごとがないと入れないのかとの話があり「さくらサポ」の名称を出すようにした。来所者は、健康ポイントをもらいに来る方が多く、相談者は今のところ1件という状況で、地区社協のボランティアにつないだ。ボランティア組織としては募集をしているが、活動ができる状況とはなっていない。まずは知ってもらうことで、居場所づくりから頑張っている。

会長：ありがとうございました。次に、支援組織の地域包括支援センターからお願いします。

支援組織：中央林間の状況の補足ということで、昨年4月から関係団体の代表に集まっていた情報交換会がスタートしたが、何を話したらいいのかとか、流れがわからないということであったが、幸いにも桜丘が設立に向けて動いているということで、桜丘の動きを参考にさせていただいたことが大きかった。そこから情報交換会を重ねていき、今年3月に準備会に格上げしようということになって動いている。当初は、今年12月までに設立したいとの話が出ているが、正直なところ難しいと思うので、今年度の中で立ち上げできればいいという方向にある。現状では、規約は雛形を参考に中央林間地区ではどうするかとかがメインで話し合わせ、名称と通称名もほぼ決まり、今後は地域の社会資源のアセスメントをしていくという流れになる。

会長：ありがとうございました。続いてお願いします。

支援組織：私のエリアにはまだ協議体できていない。余談になるが、新しくデイサービスができて、そこに関してかなりロコミで介護予防に関する方々が、地域包括支援センターにそこを使いたいという問い合わせをいただくことがあり、介護予防をしたいという方が多数いるということとロコミ力が凄いということもからも協議体の活躍が期待できるのかなと思う。その中で、地域包括支援センターのメンバーも代わっているので、協議体の話を聞かせていただいた中で、どういうところに助力ができるのか考えながら、また、横並びにある他の地域包括支援センターからも私たちの動き方を学びながら進められたらと思う。

会長：ありがとうございました。いろいろとあると思う。一つの例として、渋谷西の13自治会では、今年から市のつながり推進課の支援を受けながら子供たちにスポーツをしてもらうという取り組みを始めている。自治会の中には、子どもたちではないが、会館で中高年者が体操に取り組んでいるところもあるので、そこに、アドバイスをくれるような人に来てもらえるとそこが充実する。一つの取り組みを通して、健康づくりをする

ことを考えているが、地区社協ではないのでじゃまになっては困るが、1回実施して、そこに地区社協のメンバーを入れてまた実施してみれば点が繋がるのではないかと考える。そうすると協議体の設立に向けた話もしやすくなるのではないかと考えている。ただ、協議体の設立になると自治会長や各団体の役員が言うには、「我々の負担が増える。」ということで、残念に思うところであるが、また考えていくので皆さんのお知恵を拝借したい。

部 長：高齢の方が集って体操をしているところということで、地域包括支援センターにも保健師や社会福祉士などいろいろな資格を持った人がいるので、そうした人が、チョット行って運動の仕方などのアドバイスをすることで一つのつながりができる。協議体の準備を進めて行く中でも、今まで顔を合せなかった方が合うことによって活動の中で重なっている部分があると思う。それが少しずつ見えてくると、それをどのように整理して行こうかと言う話し合いをしていただくのも協議体に進むまでの過程の中でのある意味果実というか、実だと思っている。できれば、皆さんが顔を合わせるような場を多く作っていただけたら、少しずつ前に進んでいってもらえるのではないかと。

会 長：健康普及員の方も、私たちも行ってやってみようとか、また、よく骨密度を測っていたりもしているし、地域包括支援センターの方たちも「食」のこととかがあれば、一つの体操の件からいろいろな部分にまで広がる。まずは自分の自治会から始めて、地域の13自治会につなげて、そして、つながり推進課から受けている支援と一つにしていきたい。

他になれば、次の議題の(3)令和7年度の予定等について、事務局からお願いします。

◆資料3 令和7年度の予定について、を事務局から説明。

#### 【質疑】

会 長：ありがとうございました。令和7年度の予定について、委員の皆さん何かご質問やご意見がありませんか。

では、私から。②の参加者のチョイスの仕方はどうしているのか。ということと、その研修の最終目標は何か。研修の趣旨が参加者の追究できる内容なのか。それから③の内容を教えて欲しい。次に④の主体はどこなのか。最後は⑤の説明会は、何時、何処で、誰に、どのように開催しようとしているのか。教えてもらいたい。

事務局：②の研修については、既存の協議体の支え合い推進員と役員に対して行っており、各地区で行っている活動やどんな困りごとの相談があり、どの様に処理をしているか等の意見交換及び、昨年度の例では、協議体を作る広報紙の作成の仕方などについて、講師を呼んで講習会を実施したりしている。また、各地域の活動が行われてきた背景などについての研修が主である。③の支援組織会議の内容は、各地域の活動状況や現在、中央林間地区が立ち上げに向けた準備会を行っているので、その進め方について、市、市社協、地域包括で話し合いを行っているものである。

後は、④の制度の説明、支援体制というところの主体は市である。市が各地域の地域包括支援センターに出向いて、地域はどうなっているのか、現状はどうなのか等の意見聴取をしながら、未設置のところであれば、どうしたら設立まで進めるか等の意見交換をしてきた。昨年度はできなかったが、一昨年までは全地域包括支援センターを訪問したので、また進めて行きたいとのことで予定としたものである。⑤の制度説明会については、各団体の会合時など、いろいろな機会をとらえて市から出向いて説明を行っている現状である。全市的に説明会を開いている訳ではなく、希望のある各団体や協議体立上げの機運のある地域の各団体に対して随時行っている。

会 長：分かりました。他になければ次に進みます。議題の（４）その他について、事務局から何かありますか。

事 務 局：皆様、ありがとうございました。この第1層協議体の会議につきましては、第2回の会議を来年の2月または3月に予定しております。開催につきましては改めてご案内をさせていただきますので、よろしくお願いをいたします。今後も引き続き、委員の皆さまにおかれましても各団体の会議、会合などの機会をとらえ、協議体についての話し合いをしていただくなど、制度の理解、立ち上げに向けた機運の醸成などにご尽力をいただけますようよろしくお願いいたします。

会 長：ありがとうございました。委員の皆さんから何かございますか。ないようですので、会議の終わりにあたり、職務代理から閉会の挨拶をお願いします。

職 務 代 理：私のところも地図上に協議体の「協」の字が抜けています。地区社協のメンバーや地域包括支援センターとは話をしているが、まだ細かいところまで至っていないというのが現状です。皆さんのところ等では立ち上がってきているので、もうそろそろ何とかしなくてはいけないと考えている。皆様方には、お知恵や支援、協力を求めることがありますので、その節はよろしくお願いいたします。

本日はお忙しい中をご出席いただき、ありがとうございました。閉会とさせていただきます。